

## 活動のご報告

令和4年1月下旬～2月上旬のセンター活動内容について報告をいたします。

令和4年1月期は、溪畔域の植生回復試験にむけた環境整備として、御前山国有林30ろ林小班の刈払い及び3D Walkerを用いた上層木の位置図の作成を実施したところです。

また、昨年から調査を継続している「長期育成循環施業試験」については、樹高調査及び間伐予定木の再チェックを残すのみとなっております。令和3年度中に伐採数量等の確定を予定しております。

この外にも、令和4年2月16～17日に関東森林管理局 森林技術交流発表会がweb上で開催されます。当センターから、1名参加し発表を行いますので、ご視聴の程よろしく申し上げます。

アーカイブページにおいて、前回予告した動体検知カメラの作成手順の第1歩となるOSのインストール方法について、説明するページを設けました。

関東森林管理局 森林技術・支援センター

## 「下刈時期及び立地を考慮した下刈省力化技術の開発試験」の冬下刈箇所調査の実施

令和4年1月中旬、冬下刈りによる苗木の成長量等の影響について調査するため、福島森林管理署白河支署管内芝山国有林1241や林小班で成長量調査を実施しました。

データについては、各調査区のデータが出そろった後に相互に見比べ検討することとしております。



調査風景

## 溪畔域植生回復試験地内の上層木の位置図作成

令和4年1月中旬、関東森林管理局技術普及課より、3D Walkerを借り受けて、溪畔域植生回復試験地の上層木の位置図作成のための調査を行いました。

しかしながら、センターに持ち帰ってから分析したところ、解析ソフトのエラー表示により、立木の配置図が作成できませんでした。

今後、エラー表示が出る理由について、販売店に問い合わせ等を行うこととします。

データについては、関東森林管理局 技術普及課に持ち込み解析を行うことを検討します。



調査風景